

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本Ⅱ Fundamentals of care Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護の基本Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護の基本Ⅲ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保 由佳	福祉棟2F	月～金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「介護の質」を向上させるためには「尊厳を支える介護」や「自立支援に向けた介護」が不可欠であり、介護実践の場で展開されなければならない。それが介護の基本的要件とも言える。本授業では、可能な限り介護の実践事例をあげながら、利用者の立場で考えられる姿勢を身につける。				
授業の目標				
①QOLの意味を理解し、その人らしい生活支援の重要性を説明できるようにする。 ②ノーマライゼーションの考え方と具体的な実現方法を説明できるようにする。 ③自立(自律)の概念と自立支援に必要な視点を挙げられるようにする。 ④生活意欲への関わりを理解し、利用者の自己選択・決定とエンパワメント、個別ケアについて説明できるようにする。 ⑤利用者の立場で物事を考え、行動できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に「介護」と「利用者主体」について考える授業とする。内容によっては、視聴覚教材の視聴やグループワークも取り入れ、意見交換をしながら自己の考えを深める。				
学習の成果(学習成果)				
利用者を生活の主体者として捉え、「尊厳の保持」「自立支援」の観点から、人権やプライバシーに配慮した利用者主体の介護を提供することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・欠席時の対応など) 介護の特性と対象者支援の基本的理念について			
第2回目	尊厳を支える介護① QOLの理解について			
第3回目	尊厳を支える介護② ノーマライゼーションの歴史的背景と理念			
第4回目	尊厳を支える介護③ ノーマライゼーションと介護			
第5回目	尊厳を支える介護④ 利用者主体について考える ～その1～			
第6回目	尊厳を支える介護⑤ 利用者主体について考える ～その2～ 【レポート1:利用者主体とは、提出は次回授業時。】			

第7回目	自立に向けた介護① 自立支援、自立と自律の考え方	
第8回目	自立に向けた介護② 自己選択・自己決定について ～その1～	
第9回目	自立に向けた介護③ 自己選択・自己決定について ～その2～ 【レポート2：自己選択・自己決定の支援について、提出は次回授業時。】	
第10回目	自立に向けた介護④ 生活意欲への働きかけ	
第11回目	自立に向けた介護⑤ エンパワメント	
第12回目	自立に向けた介護⑥ 個別ケアの在り方～その1～	
第13回目	自立に向けた介護⑦ 個別ケアの在り方～その2～	
第14回目	自立支援と介護の営み、試験	
第15回目	尊厳の保持と自立支援	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことをノートにとっている。③課題等の提出期限を守っている。④グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。
レポート	20%	Sのレポートは、課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	論述および記述形式の問題とする。論述に関しては、根拠(エビデンス)に基づき、自分の言葉で述べること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
新・介護福祉士養成講座 第3巻「介護の基本Ⅰ」および第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版 その他、必要に応じて資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
日頃から高齢者や障害者福祉に関する内容に目を向け、情報を収集すること。目的意識をもって授業に取り組み、グループワークでは積極的に意見交換して欲しい。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合には、速やかに届け出を提出すること。		